

## ◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO法人 エンハンスネイチャー荒川・江川

26A-40

代表者：理事長 小川 早枝子

URL :

---

### 1. 活動が必要とされた状況

上尾市と桶川市境に流れる荒川の支流「江川」最下流に「埼玉県希少野生動植物の種の保護に関する条例」指定種のサワトラノオやサクラソウが自生している。1990年に、これらの野生生物保護を目的とした市民による「サクラソウトラスト」を設立し、以来サクラソウ群落の生物多様性を目的とした保全活動を行っている。また荒川中流域にはサクラソウトラスト地を核として多くの自然再生活動が展開されている。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

サクラソウトラスト地において、年間を通して維持管理活動を展開している。外来種対策、水位管理、希少種の増殖活動、草刈り、草の運び出しなど、里山の管理作業は多岐にわたり、季節ごとに作業をこなしていく。もちろん観察会も開催している。荒川中流域の自然再生事業への協力も積極的に行っている。

### 3. 活動の成果

サクラソウトラストを設立してすでに30数年がたち、私たちの適切な維持管理活動で江川下流域生物多様性は増加している。たとえば希少種だけでも130種を超えた。多くの遺伝子がよみがえり、今も希少種が増え続けているが、絶滅危惧種の植物である「クサレダマ」や「エゾミソハギ」の出現には驚かされた。

### 4. 今後に残された課題

トラスト地で現在最も問題なのはボランティアの老齢化である。若い人たちは幼少期の自然体験そのものが少なかったせい、自然に親しんだり、身近な自然を守ったりする活動などには参加してもらえないようだ。今こそ環境教育に力を入れて、若い世代に自然保護の真の重要性を知り、保護活動へ参画を促すような努力をしていかなければならない。



多くの希少種について学ぶ  
4月の観察会は大盛況



官民一体となっておこなう  
冬の管理作業は草運び



江川河畔林の管理は地元のおじさんたちのお仕事